



無限 笑顔のをせて∞の未来へ 鹿児島市電車運行100周年 ～鹿児島市交通局～



大正元(1912)年12月1日に本市初の電車が武之橋～谷山で運行を開始してから、平成24年12月1日で100周年を迎えた鹿児島市の路面電車。

電車の歴史を振り返るとともに、電車と電車を支える人たちの一日を伝えるほか、市電の仲間たちや利用者の声などを紹介します。

愛され続けて100年

コレマデモ、コレカラモ。

本市での路面電車は大正元（1912）年12月1日、交通局の前身となる鹿児島電気軌道（株）が全国では28番目に運行を開始しました。昭和3（1928）年、鹿児島市が同会社を買収し、鹿児島市電気局（現在の交通局）を設置。これが鹿児島市営電車の始まりです。

これまで大正、昭和、そして平成へと100年間にわたり、市電は市民の通勤や通学などの身近な交通手段として愛され続けてきました。そして、これからも人と環境に優しい公共交通機関として、本市のさらなる発展につながるよう人々の笑顔のをせて走り続けます。



電車運行の歴史

○大正元（1912）年12月
鹿児島電気軌道（株）が武之橋、谷山で運行開始

○昭和3（1928）年7月

鹿児島市が鹿児島電気軌道（株）を買収し、鹿児島市電気局設置

○昭和14（1939）年2月

九州初の女性車掌（23人）が登場

○昭和19（1944）年10月

鹿児島市交通部と改称。女性運転手、学徒挺身運転手を採用

○昭和20（1945）年6月

空襲により、電車59両を焼失・破損し、運行可能な電車は3両となり、営業中止（昭和21年4月までに上町線を除き、順次復旧）

○昭和23（1948）年12月

上町線営業再開

○昭和27（1952）年10月

鹿児島市交通局と改称

○昭和35（1960）年12月

電車車検工場、トラバサ（車両を線路間で平行移動させる装置）完成

○昭和42（1967）年9月

電車のワンマン運行開始

○昭和45（1970）年4月

伊敷線の軌道敷内乗用車乗り入れ実施

○昭和48（1973）年3月

「愛の優先席」設置

○昭和50（1975）年3月



いた上町線



西鹿児島駅（現在の鹿児島中央駅）前（昭和29年）



株式会社時代の第1号電車（大正2年～5年ごろ）



この地で100年の歴史を刻む鹿児島市交通局の電車車両基地と武之橋電停を望む

- 11系統から3系統へ改定
- 昭和56(1981)年7月
冷房電車運行開始(昭和61年までに全車冷房化)
- 昭和60(1985)年9月
上町線、伊敷線廃止(営業総延長13.1kmに)
- 昭和63(1988)年1月
センターポール事業着手
(平成4年3月完了)
- 平成5(1993)年4月
函館市路線縮小に伴い、公営路面電車営業km日本一に
- 平成7(1995)年12月
戦後初の女性運転手採用
(平成24年12月1日現在5人)
- 平成14(2002)年1月
超低床電車「ユートラム」運行開始
- 平成17(2005)年4月
ICカード「ラピカ」乗車システム供用開始
- 平成19(2007)年4月
「ユートラムII」運行開始
- 平成23(2011)年3月
観光電車運行開始
- 平成24(2012)年11月
軌道敷緑化整備、道路併用軌道区間全線(8.9km)完成
- 平成24(2012)年12月
電車運行100周年を記念して観光レトロ電車「かごでん」運行開始



現在の鹿児島中央駅前



市電運行最終日の伊敷町電停
(昭和60年)



薩摩義士碑前を通過して
(昭和60年)

頃、最後の電車が
着。
お疲れ様でした。



電車と電車を支える人たちの一日♪



5時30分ごろ



早朝5時30分ごろには運転士出勤。点呼とアルコールチェックから一日が始まります。早朝から深夜までおよぶ長い一日を交代で勤務。今日も安全運行に務めます。



5時40分ごろ



5時40分ごろ、交通局を第1号車が出発し、その後も次々と出庫。運行管理室では常に3台のカメラでその状況をチェック。ここでは全路線の運行状況を管理し、運転士と無線でのやりとりも行われます。

電車運転士研修生 しゅ ぶく 壽福 真実さん



交通局の先輩である父の姿を幼い頃からずっと見てきたこと、また女性運転士への憧れもあり、電車運転士に興味を持ちました。今年7月に採用になり、現在は研修生として運転や車内の点検方法、非常時の対応など、日々勉強中です。

電車の運転は車の運転と全く異なり、特にブレーキのかけ方がとても難しいです。安全運行のため、さまざまな角度から注意を払う必要があり大変ですが、とてもやりがいを感じます。

また多くの乗客の人たちと接することがとても楽しみです。目標である父の接客に負けないよう、皆さんに親しまれるような運転士になりたいですね。

電車運行100周年という記念の年に採用された事を誇りに感じながら、しっかりと安心・快適な運行に貢献していきたいです。



8時ごろ





23時10分
交通局内に到
今日も一日



23時10分ごろ

18時ごろ



安全運行のため、丁寧に点検・整備。
また気持ちよく乗車いただくため、毎
日の清掃も欠かせません。



14時ごろ



電車車両整備士 永坂 正美さん



電車の点検や整備を行う交通局内の修理工場で、モーターや電装部品など電気関係の整備を担当しています。

昭和49年に整備士になり、現在38年目。振り返ると、昭和56年の車内冷房化の作業や数々の電車の改造作業など、さまざまな電車の整備をしてきましたね。私自身、もともと乗り物が好きで、高校時代には市電で通学していたこともあり、この仕事に就けたことに日々幸せを感じます。

私たち整備士にとって、電車は自分の子どものような存在ですので、一台一台、その電車に見合う整備を丁寧に行っています。

これからも乗客の安全を第一に、皆さんの笑顔のをせて快適に運行できるよう、全力で整備を行っていききたいと思います。

